

次号予告

特集 物理療法

MEの発展と物理療法への応用

.....神奈川県リハセンター・七沢病院 福井 罔彦

低周波療法.....国立身体障害者リハセンター 初山 泰弘

極低温療法の応用と運動療法

(慢性関節リウマチを中心として)・・・冷凍運動学研究所 山内 寿男・他

針刺激とその臨床応用.....九州リハビリ大学校 和才 嘉昭

浮腫に対する物理療法.....大阪大学病院 浅野 達雄

講座 交流分析 1.....聖マリアンナ医科大 深沢 道子

プロGRESS 米国における理学療法研究の動向.....アイオワ大学 ポール・アンドリュース

リハビリテーション・インフォメーション

<山口県>.....山口県心身障害センター 久保 裕・他

<山梨県>.....石和温泉病院 窪田 準・他

あんてな 国際障害者年に関する必要な情報から

.....日本障害者リハ協会 松友 了

編集後記

春になると人間も植物も活気を取り戻し、最も美しい姿になる。特に今年の冬は寒波にみまわれ、雪国では春の訪れが待ち遠しく感じられる。4月にはあらゆる学校に新入生が迎えられ「教育という名の電車」に乗る。そして終着駅に降り、旅の思い出をたどると、そこに自分の姿が見えない。何のための旅だったのかと苦悶すらしない。ピカピカのランドセルが春の日ざしに輝いていたのは何のためだったのか……。

今回は臨床教育について林氏に論じていただいた。問題解決型の学習の重要性を指摘されているが、国家試験志向型の学習傾向の強いPT、OT学校に最も欠けているのではないだろうか。学習の動機付けとして、教師の自己学習、人間性などを挙げておられるが、忠実にその助言を受けとめた。

両金子氏にはPT、OTカリキュラムを批判的に論じていただき、展望も加えていただいた。アメリカの大学院ではカリキュラム研究の講座を持っている所が多いが、

我が国ではまだ行政レベルで論じられていることが多いのではないだろうか。

教育信条(哲学)についてそれぞれの立場から四氏に述べていただいた。教師、指導者の方針があいまいだと学生を無意味に迷わせ、学習の手助けは出来ないだろう。

研究と報告には野々垣氏他の「健常者の体幹筋筋力についての検討」という基礎研究が掲載されている。今後さらに基礎研究へ力を入れる必要があるといえよう。

講座として、心理学シリーズ、モビリゼーションが連載されている。

国際障害者年でリハビリ関係の報道や記事が目立つが、かならずしも正しい姿でないことがある。機会があつてNHK金沢支局の記者にクレームを付けたところ勉強不足をこころよく認めていただいた……。これも教育かな?

(奈良 勲)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
埼玉県生活福祉部

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎リハビリ学院長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

萩 島 秀 男
リハビリテーションペ
イン(痛み)クリニッ
クわらび診療所

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
山梨県下部病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 巳

池 田 俊 雄

伊 東 元

宇都宮 初 夫

大 丸 幸 翼

金 子 倉 矩 子

鎌 紀 伊 克 昌

木 村 信 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 馨

嶋 田 智 明

鈴 木 明 子

関 昌 家

高 橋 正 明

中 屋 久 隆

橋 元 隆

藤 沢 しげ子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

(担当 細田・西塚)